



親子で交通安全を学ぶ

第33回パンダクラブ親子大会が2月19日、市役所市民ホールで行われました。

同クラブは、交通ルールへの関心を高め、親子ぐるみで交通事故防止を図ることを目的に毎月活動しています。

この日は、各地区のパンダクラブに所属する親子約20人が参加。交通安全指導員の指導を受けながら、パンダクラブで学んだ横断歩道や踏み切りの渡り方などを、遊びを交えながら学びました。

また、大会の最後に代表の安永佳純さん（御厨・西木場、4）、松永侑華さん（志佐・笛吹、4）、今里あかりさん（志佐・高野団地、4）、浜田真衣さん（志佐・丹花、4）が「交通安全のお約束」を宣言し、交通安全を誓いました。



音楽祭で楽しいひととき

一人暮らしのお年寄り・高齢者との昼食会・今福町民音楽祭（今福地区社会福祉協議会、今福公民館主催）が2月23日、今福公民館で開催されました。

音楽などを通して世代間交流を深めようと、70歳以上の一人暮らしや80歳以上のお年寄りを招待して、毎年開催しています。

音楽祭では、今福保育所の園児や今福小・中学校の児童・生徒、地域の人などが遊戯や合唱、日本舞踊などを披露。今福町婦人団体連絡協議会の手作り弁当も振る舞われ、参加したお年寄り約130人は楽しいひとときを過ごしました。

まつうら党交流公社が設立

市の体験型旅行受け入れに取り組む3団体を統合した「一般社団法人まつうら党交流公社」の設立総会が2月13日、松浦シティホテルで開催されました。

同公社は、松浦体験型旅行協議会、特定非営利活動法人（NPO法人）体験観光ネットワーク松浦党、松浦党の里体験観光協議会の3団体を統合したものです。

市では、平成15年度から体験型旅行事業に力を入れており、修学旅行生などを受け入れ、民泊と漁業や農業などを体験させる「ほんなもん体験」を実施。平成21年度は約2万人の受け入れを見込んでいます。



まちの話題



教職員・保護者・地域が学校支援

松浦市学校支援会議研修会が2月15日、きらきら21で開催されました。

学校支援会議とは、各学校区の教職員、保護者、地域の代表が集まり、「あいさつ」や「学習」など具体的な目標を共有して、協議・協働する組織です。県では全ての公立小・中学校への設置を目指しています。

研修会では、実際に学校支援会議を作り活動している佐世保市立三川内小学校の中嶋健蔵校長先生と西海市立大串小学校の清水修校長先生が事例紹介。21世紀教育を考える会の飯笹芳子先生（元長崎市立戸町小学校長）が「家庭力・学校力・地域力をむすんで」というテーマの講話を行いました。参加した保護者など約80人は学校、家庭、地域が連携した子育てについて学びました。





火の用心に努めます

上志佐小学校（田中輝久校長）の4～6年生の児童で組織する「上志佐ジュニア消防クラブ」の入退団式が3月3日、同小学校体育館で行われました。

同小では、4～6年生がジュニア消防クラブに入団し、消防出初式の行進や火災予防広報活動などに取り組んでいます。今回は卒業を控えた6年生16人が退団し、新年度に4年生になる17人が入団しました。

式では、団旗の引き継ぎを行った後、新団長の松本拓海くんが「先輩の意思を引き継ぎ、消防署、消防団の指導のもと、学校、家庭、地域から火災をなくすためクラブ員一丸となり、予防消防に頑張ります」と誓いの言葉を読み上げ、火災予防への誓いを新たにしました。

松浦ブランドの和牛を

「松浦生まれ 松浦育ちの黒毛和牛肉」の流通推進講演会が2月27日、道の駅松浦海のふるさと館研修室で開催されました。

会では唐津市鎮西町で肥育牛経営をしながら農産物直売所と連携して佐賀牛の流通推進を行う宮崎卓^{たかし}先生が講演。松浦生まれ松浦育ちの黒毛和牛が市内で流通可能なのかなどの講演や意見交換が行われました。また、「食べてみんな」長崎和牛試食宣伝会 in 松浦と称して長崎和牛の試食会も開催され、同施設を訪れた市民などに炭火で焼いた和牛が振る舞われました。



市の花「ツバキ」をPR —福島つばき祭り—

第36回福島つばき祭り（松浦福島つばき会（佐木茂会長）主催）が3月7日、8日の両日、福島武道館と武道館前お祭り広場で開催されました。

同祭りは、市の花「ツバキ」をPRしてまちおこしをしようと毎年開催されています。

この日は、ツバキの展示や苗の販売、小・中学生の絵画などの展示、共催の福島町観光協会（清田民広会長）のつばき油や石けんの販売などを行いました。

平成22年に国際ツバキ会議・全国椿サミットが福岡県久留米市で開催されます。その際、福島町のツバキの群生林見学なども計画されていることから、今年は、松浦福島つばき会が伊万里市の面打ち工房「呆玄」（江里口一人代表）に依頼し「福島こけし」を制作。同祭り会場内でPRを兼ねた販売会も行われました。

会場には市内外から訪れたツバキファンなどが鉢植えを鑑賞したり苗を買い求めたりしていました。



▲胴体にツバキの花が描かれた「福島こけし」

◀会場となった「福島武道館」内の様子